

<支援企業を訪問しました>

特定非営利活動法人 グローブ 殿

「施設利用者の工賃向上は 新規事業で！」

特定非営利活動法人（NPO 法人）グローブ（笠原栄子代表理事）は平成 11 年に上尾市東町で産声を上げました。2 度の移転をへて平成 24 年 3 月に現在の上尾市上尾村に新施設を竣工し移転しました。当施設は障がい者事業所で、8 名の職員と 23 名の障がい者の皆さんが自立・就労をめざし仕事に励んでいます。

グローブは規格外となったホテル仕様のタオルを縫製加工した雑巾や足ふきマット等の自主製品を主力に製造販売してきましたが、昨年から新規事業として手づくりジャムの製造販売を始めました。

代表の笠原さんは、新規事業について次のように話されました。

『このジャムのご縁でアブセックさんと知りあいました。

一昨年（H24）埼玉県での 3 ケ年の「障害者就労施設・シニア世代連携事業」の募集がありグローブは利用者（障害者の呼称）の工賃向上のためジャムの新規事業を立ち上げるテーマで応募し認定されました。アブセックも同事業での支援する側として応募・認定されました。グローブの支援要請は「ジャムの製造販売による新規事業開発」でしたので、アブセックとしては各分野の専門家で支援グループ“上尾・アブセック・セルフサポートサークル”を編成し、支援の体制をとった。

スタートの H24 年度はまず新規事業進出の全体像を描いてもらい、生産設備の設計から設備購入・施工・完成・更に役所への申請等を支援してもらいました。昨年は商品化から試験販売、本格販売へと進みました。特に原料の安定的な調達には私たちの力がおよばない所でアブセックの力を借りました。

この 5 月（H26 年）で完熟とまとの購入先を最後に原料調達のネットワークが一通り完成しました。



ルバーブのジャム

私達の商品へのこだわり「甘さ控えめ・果物感がおしよせる」を商品コンセプトに苺から完熟トマトまで 12 種類の商品シリーズが整いました。

ブランド名は「四季旬果」としアブセックに商標登録をしてもらいました。昨年は上尾市 市制施行 55 周年記念式典の贈答品に採用され 2000 個の注文をいただきました。11 月にはあげお産業祭に一般の事業所に交じってジャムだけで出店し、相応の販売実績をあげることが出来ました。

お蔭さまで、発売 1 年目にも関わらず昨年（H25）のジャムの売上は 4800 個強（目標 1000 個）となりました。アブセックから直接ご支援を頂くのは、今年が最終の 3 年目になります。まだ私たちだけで原料調達・製造・販売まで安定的に行えるのか不安はありますが、3 年にわたるアブセックのご支援を礎に「四季旬果」を大きく育て、いつか上尾の逸品になれるように努力していきます。（鈴木 記）



ご意見・お問い合わせはこちらまで



上尾商工会議所 桶川市商工会 伊奈町商工会 北本市商工会 鴻巣市商工会

アブセック事務局 TEL 048-773-3111 E-mail abcec@ageocci.or.jp